

令和3年2月遠野市議会臨時会会議録（第1号）

令和3年2月10日（水曜日）

議事日程 第1号

令和3年2月10日（水曜日）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 議案第1号 令和2年度遠野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについて
- 第4 議案第2号 令和2年度遠野市一般会計補正予算（第9号）

本日の会議に付した事件

- 1 諸般の報告
- 2 日程第1 会議録署名議員の指名
- 3 日程第2 会期の決定
(議会運営委員長報告、採決)
- 4 日程第3 議案第1号 令和2年度遠野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについて
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)
- 5 日程第4 議案第2号 令和2年度遠野市一般会計補正予算（第9号）
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)
- 6 閉 会

出席議員（18名）

- 1 番 小 松 正 真 君
- 2 番 佐々木 恵美子 君
- 3 番 菊 池 浩 士 君
- 4 番 佐々木 敦 緒 君
- 5 番 佐々木 僚 平 君
- 6 番 小 林 立 栄 君
- 7 番 菊 池 美 也 君
- 8 番 萩 野 幸 弘 君
- 9 番 瀧 本 孝 一 君
- 10 番 多 田 勉 君
- 11 番 菊 池 由 紀 夫 君
- 12 番 菊 池 巳 喜 男 君

- 13 番 照 井 文 雄 君
- 14 番 荒 川 栄 悦 君
- 15 番 安 部 重 幸 君
- 16 番 新 田 勝 見 君
- 17 番 佐々木 大三郎 君
- 18 番 浅 沼 幸 雄 君

欠席議員

な し

事務局職員出席者

- 事務局 長 新 田 順 子 君
- 次 長 千 葉 芳 治 君
- 主 査 多 田 倫 久 君

説明のため出席した者

- 市 長 本 田 敏 秋 君
- 副 市 長 飛 内 雅 之 君
- 総務企画部長 鈴 木 英 呂 君
- 総務企画部経営管理担当部長
兼新型コロナウイルス対策室長 菊 池 享 君
- 健康福祉部長兼健康福祉の里所長
兼地域包括支援センター所長 菊 池 寿 君
- 子育て応援部長
兼新型コロナワクチン接種対策室長
兼母子安心課長
兼総合食育課長 佐々木 一 富 君
- 産 業 部 長 中 村 光 一 君
- 産業部プロジェクト担当部長
兼二セク・まち活推進室長 阿 部 順 郎 君
- 環境整備部長 奥 寺 国 博 君
- 会計管理者兼会計課長 鈴 木 純 子 君
- 消防本部消防長 三 松 丈 宏 君
- 市民センター所長 小 向 浩 人 君
- 市民センター文化振興担当部長 石 田 久 男 君
- 教育委員会事務局教育部長 伊 藤 貴 行 君
- 教 育 長 菊 池 広 親 君

午前10時01分 開会・開議

○議長（浅沼幸雄君） ただいまから、令和3年2月遠野市議会臨時会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。

諸般の報告

○議長（浅沼幸雄君） 日程に入るに先立ち、諸般の報告をいたします。

市長から議案の送付がありましたので、お手元に配付しておきましたから御了承願います。

次に、市長から報告第1号及び第2号の2件の送付がありましたので、お手元に配付しておきましたから御了承願います。

次に、監査委員から例月現金出納検査の結果報告書1件と令和2年度公の施設に係る指定管理者監査結果報告書1件を受理いたしましたので、その写しをお手元に配付しておきましたから御了承願います。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（浅沼幸雄君） これより本日の議事日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において、1番小松正真君、2番佐々木恵美子君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。

本件に関し、議会運営委員長の報告を求めます。議会運営委員長。

〔議会運営委員長菊池由紀夫君登壇〕

○議会運営委員長（菊池由紀夫君） 命によりまして、議会運営委員会の御報告をいたします。

昨日午後1時30分から議会運営委員会を開催し、令和3年2月遠野市議会臨時会の会期についてを協議しました。その結果、会期を本日1日間とすることに決定いたしました。

会期内予定表は、既に議員各位のお手元に配付しておきましたが、若干の説明を加えさせていただきます。

会期の決定後、議案第1号及び議案第2号

は、委員会付託を省略し、この場で審議を行います。議案は、補正予算の専決処分に関する承認1件と補正予算1件です。

なお、質疑は、自席で1人3回までとなっておりますので、念のため申し添えます。

議員各位の御協力をお願い申し上げ、議会運営委員会の報告といたします。

○議長（浅沼幸雄君） お諮りいたします。ただいまの議会運営委員長報告のとおり、今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思いを。これに御異議ありませんか。

（「異議あり」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 1番…、暫時休憩します。

午前10時05分 休憩

午前10時05分 開議

○議長（浅沼幸雄君） 再開します。

異議があるということなので、採決を起立による採決にいたしたいと思いを。自席に戻ってください。

あらためてお諮りいたします。ただいまの議会運営委員長報告のとおり、今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思いを。これに御異議ない方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（浅沼幸雄君） 起立多数です。

着席願います。

起立多数でございますので、委員長報告のとおり決しました。よって、今期臨時会の会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3 議案第1号令和2年度遠野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについて

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第3、議案第1号令和2年度遠野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについてを議題といたします。

本案について、提出者の説明を求めます。飛内副市長。

〔副市長飛内雅之君登壇〕

○副市長（飛内雅之君） 命によりまして、令和3年2月、遠野市議会臨時会に提出いたしました議案の提案理由を御説明いたします。

議案第1号令和2年度遠野市一般会計補正予算（第8号）専決処分に関し承認を求めることについては、新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る予算並びにふるさと納税の増収に伴う返礼品発送業務等及び市道の除排雪業務に係る既定予算を早急に補正する必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し、その承認を求めるものがあります。

第1条歳入歳出予算の補正では、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億6,533万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ254億2,090万3,000円とするもので、歳入では国庫補助金や財政調整基金繰入金、寄付金などの補正を、歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費ふるさと応援推進事業費及び市道等管理費の追加補正を行ったものであります。

第2条繰越明許費の補正及び第3条債務負担行為の補正は、いずれも新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の追加を行ったものであります。

以上で説明を終わります。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（浅沼幸雄君） これより質疑を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第1号令和2年度遠野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについては、会議規則第37条第3項の規定により、委員会への付託を省略いたしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 異議なしと認めます。よって、議案第1号は、委員会への付託は省略することに決しました。

これより討論に入ります。反対討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 賛成討論ありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより議案第1号令和2年度遠野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関し承認を求めることについてを採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに賛成の方は1の賛成ボタンを…失礼しました。採決は、表決システムにて行います。本案は原案のとおり承認することに賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（浅沼幸雄君） 押し間違いはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅沼幸雄君） 以上で、表決を締め切ります。採決を確定いたします。

賛成全員であります。よって、本案は原案のとおり承認されました。

日程第4 議案第2号令和2年度遠野市一般会計補正予算（第9号）

○議長（浅沼幸雄君） 次に、日程第4、議案第2号令和2年度遠野市一般会計補正予算（第9号）を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。飛内副市長。

〔副市長飛内雅之君登壇〕

○副市長（飛内雅之君） 命によりまして、議案第2号の提案理由を御説明いたします。

議案第2号令和2年度遠野市一般会計補正予算（第9号）については、第1条歳入歳出予算の補正では歳入歳出予算の総額に歳入歳出そ

れぞれ1億4,850万4,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ255億6,940万7,000円にしようとするものであります。

今回の補正予算の主な内容は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費の追加、新型コロナウイルス感染症の経済対策として新たに実施する遠野産米次期作支援に係る事業費のほか、断続的な降雪に伴う市道の除排雪業務に係る事業費の追加などをしようとするものであります。

第2条繰越明許費の補正及び第3条債務負担行為の補正は、いずれも新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係る変更をしようとするものであります。

以上で、説明を終わります。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（浅沼幸雄君） これより質疑を許します。

1番小松正真君。

○1番（小松正真君） 歳出4款、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費の増、先ほどの第1議案でちょっと質問すればよかったかなと思うんですけども、議案が当日配付ということで、私もちょっとまだ頭が整理できないような状態で質問するんですが、この中に委託業務というのがあります。それも含めてワクチン接種の対策室か何かですかね、そういうのも立ち上げたというふうな話も聞いてます。

せっかく議会で遠野テレビの放送もありますので、そこら辺もし今決まっているような状況があれば、ワクチン接種に向けての体制とか、そういうふうなものをお伺いをいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 新型コロナワクチン接種対策室長。

○新型コロナワクチン接種対策室長（佐々木一富君） お答えします。この委託業務の関係なんですけれども、こちら4月以降接種を開始する形での準備も進めてございます。

そういう中におきましては、今接種できる会場のやっぱり設定をしていかなければなりません。

これには、市内の医療機関の先生方とかさまざまその接種環境を整えるために、今現在協議中でございますけれども、その中においては今想定していることは、各医療機関ごとでの個別接種も検討しながら、さらには集団接種会場を設定して、その2つのミックスで環境を整えていったらどうなのかと、そういうことで今現在協議中のところでございます。

それを進めていくためにも、特に集団接種会場等必要になれば、その会場に関わる準備、必要なスタッフ、それから接種の受け付けをするためのコールセンターとか、それから接種に関わるいろいろな相談とか、そういう受ける窓口となるスタッフも必要になってございます。

そういう環境を今年度のうちに構築をして、そしてさらには4月以降からの接種に備えていくということになりますので、それらに関わるその財源として今回専決処分と9号補正のこの事業と2つをミックスして、それに対処していくというような形になってございます。

○議長（浅沼幸雄君） 1番小松正真君。

○1番（小松正真君） はい、大体想像がつかまりました。

それでですね、今接種会場の選定だとかそういう話もあったと思います。

具体的に4月以降に接種が始まるとして、今検討している内容っていうのはいつ頃までに全部決めて市民に対してお知らせをしようとか、そういうふうなものっていうのは決まっていますでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 新型コロナワクチン接種対策室長。

○新型コロナワクチン接種対策室長（佐々木一富君） 今調整検討も含めてですねやってるわけですけども、早い所で4月の中旬からすぐ開始するとなれば、各対象者に通知する通知票、接種券、クーポン券ですね、そういう物も準備いたします。

その中において3月の中旬頃、ほぼ1カ月前の時点ですで、会場とか受付の仕方とか、さまざまそういう手続き的なお知らせもですね、

入れたうえで通知をしなければならないと思っていますので、3月上旬中旬頃に間に合うように、そういうアナウンスも決定次第してまいりたいと思います。

○議長（浅沼幸雄君） 他にございませんか。

17番佐々木大三郎君。

○17番（佐々木大三郎君） ただ今の御答弁の中に、コールセンターの設置というお話がありました。

このコールセンターというのは、受付の範囲、これは遠野市民専用のセンターでしょうか。あるいは、岩手県全体とか全国というレベルでしょうか、その件について伺います。

○議長（浅沼幸雄君） 新型コロナワクチン接種対策室長。

○新型コロナワクチン接種対策室長（佐々木一富君） このコールセンター業務というのはですね、市町村であれば接種の申し込みの受け付けがございませう。

これは、今あり方についても、ちょっと協議されてるところでありまして、県単位で総括してもできないのかとかさまざまございませう。

その部分とも並行してなんですけれども、今考えているのは遠野市民向けのダイヤルを設けてまして、専用で受付から相談からというような形で今考えているところでございます。

○議長（浅沼幸雄君） 17番佐々木大三郎君。

○17番（佐々木大三郎君） ただいまのご答弁の中に相談というお話がございました。

この相談というのは、コロナに関わることは全て受け付けていただけるというふうに理解してよろしいでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 新型コロナワクチン接種対策室長。

○新型コロナワクチン接種対策室長（佐々木一富君） 今役割的にですね、相談窓口というのは市町村とそれから県と国とそれぞれ持つていくことで今進めてます。

市町村の相談っていうのは、申し込みとか手続きとか、当日何を持っていったらいいんでしょうかとかですね、接種する時にですね、い

ろいろ接種受けるまでのいろいろわからない部分の不明点をお答えすると。県の方の相談窓口っていうのは、医学的にこのワクチンという物はどのような効果があったりとか、安全性のこととか、そういったワクチンとかの専門的なそういう相談窓口は、県が行うということになってございますけれども、さまざまそれが市町村に入って来たにしても、それはもう県のほうにすぐお繋ぎできるような仕組みを作るとか、そういう連携も今後は作っていかねばなりませんけれども、その縦割りはできてございませう。

ですのでそういう窓口のあり方についても、市民向けのお知らせの中に情報として入れて周知を図っていきたいと思います。

○議長（浅沼幸雄君） 14番荒川栄悦君。

○14番（荒川栄悦君） 私は、この第6款の、補助及び交付金と2項目あります収入保険加入促進事業費補助金と遠野産米次期作支援、これの具体的な補助の内容を説明してください。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） まず、ご質問の収入保険の方ですけれども、これは12月の補正の方で既に収入保険の加入料の2分の1を支援するという事で予算措置をしていたんですけれども、当初、12月までに加入しておられる方と、その後20人程度増えるのではないかとということで248万円ほど予算措置しておりました。

ただ、実際予想よりもですね加入された方が多かったので、今回補助金の額を精査して10万6,000円程度まず増額するというのが、収入保険の10万6,000円の増の部分となります。

そしてもう1つ、今回新たに補助事業として提案させていただいた遠野産米の次期作支援の事業費補助金ですけれども、コロナの影響でですね米の需要が非常に落ち込んで、今回落ち込んだせいで令和2年産の米価も下がったということで、市内の生産者の令和3年、今年ですすね生産意欲を高めるということのために次期の令和3年産の水稻の種ですすね、購入資金の3分の1を補助するというような制度になって

おります。

○議長（浅沼幸雄君） 14番荒川栄悦君。

○14番（荒川栄悦君） その保険に関してですけども、これってのは保険加入時期ってのは多分保険というのは1年だとは思いますが、そういったものはこれは時期的なものは特に問題はないということでここに出したということなんでしょうか。

要は保険加入期間が無くなるんじゃないかっていうような気もするんですが、この加入期間というのはいつからいつまでなんですか。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 加入期間ですけども、今回の補助では昨年12月に申し込みをするか手続きの関係で申し込みだけは12月に行うということで対象としております。

ただ、青色申告をしていることが条件になっておりますので、現実的には昨年の2月の時点ですでに青色申告をしている方という限定になります。

ただ、この制度は収入保険ということで、農作物で得られる全ての収入に関して平均収入から減った部分の9割を補助するものですので、やはり全ての収入を正確に把握するには青色申告をしていただいているということが、制度上条件になっているということになります。

○議長（浅沼幸雄君） 14番荒川栄悦君。

○14番（荒川栄悦君） 最後になりますけども、こっちの遠野産米っていう部分の補助金は、苗を購入ですね。

○議長（浅沼幸雄君） 種です。

○14番（荒川栄悦君） 聞くところによると、3年度の米作の作付面積も増やせないような状況の中にあるっていうことなんですけども、そのへんと農家の望みってのは多分収入を減らさないためには少し作付を大きくして収入を増やしたいと思うところもあるんだと思いますが、そのへんとの調整っていうか考え方は、これとは矛盾してないんですか。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 確かにコロナのせ

いで需要が農水省の数字ですと年間米の需要が10万トン程度毎年減ってきたという状況があるんですけども、今回コロナせいでは、30万トンというかなり例年にない減少となったということで、遠野市の作付面積のほうも県の再生協のほうで割り当てた所55ヘクタールという部分があったんですけども、遠野市のほうは既に15ヘクタール減らしたということで40ヘクタールの作付面積を減らさなければならないと。確かに、米を、水稻やってる農家さんのほうでは作付面積を確かに増やして米価も下がってることだから増やしたいという希望もあるかと思えますけれども、今回農水省のほうで飼料用米等にですね転換した場合の補助金も手厚くなっておりますので、やはり米の需要を超えて生産すると、やはりその分米価が下がって結局農家さんの収入に跳ね返ってくるという状況がありますので、私どものほうでは飼料用米と他の作物への転作というかそちらのほうを進めながら、なおかつできる範囲で今回種子の購入代金の補助という部分で、農家さんの収入を少しでも維持したいというふうに考えております。

○議長（浅沼幸雄君） 他にございませんか。

9番瀧本孝一君。

○9番（瀧本孝一君） 私もその今の6款の農業なんですけども、遠野産米次期作支援事業についてお尋ねしますが、来年の米の種籾を購入する人に3分の1補助するという内容ですけども、今苗を直接購入する方もかなりいると思うんです。その方々への補助というのは全く考えなかったのでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 確かに一定数苗を購入されている方もいらっしゃるのJ Aさんのほうにも確認しながら聞いておるんですけども、傾向としてはやはり苗の購入ですと金額も値段も高いということで、米を専業されている方のほとんどは種子から買って苗を育てると。逆に高価な苗でも購入してやられてるのは、専業ではなくて兼業の方が多いというようなこともありまして、今回の支援の方は主食用米を専

業に作っている方を対象にするということで考えております。

○議長（浅沼幸雄君） 9番瀧本孝一君。

○9番（瀧本孝一君） どちらかと言えば兼業農家が多いということらしいですが、しかしですね、やっぱり同じく米を売る場合は収入も減っているということで、多少なりともですね、3分の1までいかなくても多少なりとも補助するような対策も私は必要ではないかなと思うんですが、その辺についてお尋ねをいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 確かに今回JAのほうともですね状況等確認しながら制度を作りましたけれども、兼業農家さんのほうにやはり影響がかなり大きいということであればですね、そういった新たな支援等を検討していきたいと考えております。

○議長（浅沼幸雄君） 16番新田勝見君。

○16番（新田勝見君） 第6款の予算について質問いたします。

先ほど来、産業部長のほうからありましたようにですね、今米の状況というのは非常に厳しい状況にあると。コロナの影響もありますし消費も劣っていると、下がっていると。

そういうなかで令和2年度においては1俵あたり60キロで800円から1,000円値下がりすると。これは非常に大きな農家にとっての所得減になっていると。遠野市全体で見ますと約1億円までは行かなくてもそれに近い、減収になっているというのは明らかでございます。

そういったなかにおいて今回の予算は2通りの予算が上げられておりますけれども、1つめにですね質問いたしますけれども、この収入減少、掛け金の補填ですか、私もいろいろ勉強したわけでございますけれども、この減少、青色申告してなきゃならないという条件もさることながらですよ、これに入るためにはかなり厳しいといえますかそういう条件もありますし、また、掛け金あるいは積立金そういった面で今までより掛け金が高くなるんですね実際のところ。そういったところを本当に農家のために

これは冷害とか収入が減ったときにしか払われないわけですが、ほんとにこれで全部補填するわけにはいきませんが、そういった厳しい状況の中でこれをやっていくという部分について、先ほど足りないから10万くらい増やすというのはありましたけれども、そういった内情について部長はどの程度理解しているのか、お尋ねいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 今回収入保険のほうの掛け金の半額補助っていうのをさせていただいているんですけども、確かに議員が考えてらっしゃるのは多分、ならし対策とか別の制度もあるんじゃないかということも恐らく考えられてるかと思うんですけども、まず、ならしのほうはですね、作物、米とか麦とか大豆とか限定されているということもありますし、認定農業者でなければならないというような状況もあります。

今回、掛け金の2分の1を補助した収入保険ですけども、こちら確かに青色申告していなければならないという条件が確かに厳しい部分はあるかもしれませんが、青色申告の支援等ですねJAのほうでやられているという話もありますし、今ですとパソコンができる方であればソフトウェアを買ってソフトの言うとおりに数字を入れれば申告できるといったような状況もあります。今回収入保険に補助するのは、やはり米だけではなくて全ての農作物の収入減少、また、例えば農家さんが病気で作付できなかったとか、そういったこともですね広く対象としているという部分がありましたので、幅広く農家さんの支援になるというようなことで今回は収入保険の方の掛け金の補助ということを選ばせていただいております。

○議長（浅沼幸雄君） 16番新田勝見君。

○16番（新田勝見君） 農家はいっぱいいますからそれぞれですね、限ってここだけの方についていうのはやはり一般的ではないのかなと。私はやはり米出荷してる農家、直接に減収になっておりますから販売用だけだったらそんなに

多くはマイナスにはならないだろうというふうに思います。

そこでですね、令和3年度の米政策において、今までの主食用米作っておった面積から40ヘクタールさらに、昔は多用途米と言ったんですけども、主食用米じゃない方に誘導しなきゃならないと、こういう現状に迫られておるのが実態でございます。

そういったなかで今行政で行おうとしているのが、種子の購入の補助と。3分の1補助と。そういったこと、これも1つのですね施策には変わりないというふうに思いますけれども、例えばですよ、その主食米以外のここに誘導していく、先ほど飼料用米とかWCSとかありますけれども、そういったのに誘導していくための誘導策としてですね、いろいろ考えられるてるんだろうなというふうに思いますし、今までも確かにそういう産地交付金とか水田利活用、そういったなかでですね進めてきたんだろうというふうに思いますけれども、今年につきましては、令和3年度がそれを守らなければさらにですね、来年、再来年と米価が下がるというふうに報道されております。

ですから、遠野市内においてもこの40ヘクタール、そういったものをきちんとやはり守ってですね、守ってやっていかなきゃないと私は思っていますけれども、そういう面で行政のですね、先ほど言った産地交付金なり、あるいは水田利活用についても加工米もありますしWCSもありますけれども、そういったものの交付金、そういったものをやっぱり大幅に上げて…大幅と言えればあれですけども、プラス嵩上げてですね、そして誘導を図る。そうすることが日本全国のですね米価を守る、そういう政策の1つになっていると思いますけれども、その辺について、ほんとに種の3分の1というのはこれもありがたい。いっぱいやってる人ほどですね効果があるわけですから、これも政策によってありがたい話でございますけれども、そういった米の政策誘導についてのお考えについて、お尋ねいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 今回の生産の目安、40ヘクタールというですね、かつてないほどの作付面積を減らさなければならないという状況になってきております。

遠野市の再生協議会のほうでですね、各農家さんの作付面積等計算してですね、お知らせをさせていただいておりますし、また、農業の座談会とかですね、そういった生産者の方と会う機会を通じてですね、今おっしゃった産地交付金とかですね水田の利活用と補助金の活用等進めていきたいと思っておりますし、あと、PRの仕方としてちょっと遠野市の再生協の資料ではなかったんですけども、他県のですね再生協の転作関係の資料を見たときに、例えば2ヘクタール水田のみをやってきたという農家さんがいた場合として、その内の例えば0.8ヘクタールを加工用米とか飼料用米に変えた。その時に、こういった補助金を使えると。こういった直接支払いの交付金を使えるということで、ちょっと2ヘクタール分水稲を作った場合の収入と、あと、2ヘクタールのうち例えば0.8ヘクタールを加工用米とか他のに転作した場合とで、収入の差を表示している資料を見たことがありまして、今年のですね農水省の補助金等を使うとですね、単に水田を2ヘクタールだけ作った時よりも転作したほうが収入が多いというような資料もありましたので、そういった効果的なですね施策の見せ方とかも工夫してですね、農家さんのほうにですね、やはり転作、加工用米なり飼料用米への転作を少しでも誘導していきたいと考えております。

○議長（浅沼幸雄君） 10番多田勉君。

○10番（多田勉君） 私、4款の衛生費、予防費についてお伺いをいたしますが、日々毎日のように政府もテレビ等を通じていろんな議論をなさっておりますけれども、中にはいろいろワクチンの種類によっては1回もあれば2回もあるというふうなことで、日本は2回の接種ということになるんだろうというふうに私は思いますけれども、今現在市民にあるいは国民に周知

されているのは1回目そして次の2回目というふうなその流れが今非常な課題も残っているようですけれども、そういった市民への周知もあわせてやっておく必要があるだろうと。いわゆる受け取り方では、1回目を今日しても1カ月後を過ぎないとできなかつたり、そういったものでいろんな人との意識の相違が出てきているというふうに伺っておりますので、そのへんの市の周知なり考え方っていうのはどのようにお考えなのか、お伺いをしたいと思います。

○議長（浅沼幸雄君） 新型コロナワクチン接種対策室長。

○新型コロナワクチン接種対策室長（佐々木一富君） 現在15日に国の承認を受ける予定のワクチンについては、これを4月以降活用するという方向でありますけれども、21日間、3週間空けて2回接種っていうことになります。

この接種の履歴については、国のほうでのシステム、管理システムを構築しまして、そのなかで1回目はいつどこで接種した、個人情報全部集約することになっております。

受けた方にも次の21日後の日と接種場所等について忘れないようにお知らせをその場でしたり、そういったことで接種漏れがないような配慮をしていく予定でございます。

そこら辺のスキームといいますか工程ができましたらですね、先ほどのように3月でのお知らせ時にこういう形で接種の流れになります、手続きはこうですよみたいのところも含めてですね、お知らせをセットにしていきたいと思います。

○議長（浅沼幸雄君） 10番多田勉君。

○10番（多田勉君） 次の段階っていうか、あわせて進めることになるんだろうと思いますが、遠野市の市内の医師会との話し合い、なんか話によると近々あるんじゃないかなというふうなこともあるんですが、そういったなかで問題になっている会場の問題とか、接種を受ける側からすれば、かかりつけ医の問題とかいろいろ条件があるというふうに聞いていますが、そのへんの医師会との対応、そういったものはどの程

度進んでらっしゃるんでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 新型コロナワクチン接種対策室長。

○新型コロナワクチン接種対策室長（佐々木一富君） 現在、接種する期間と接種する場所、1日あたりに接種可能な人数、そういったものもある意味シミュレーションをしながら複数パターンをこちらのほうで作ったりしてるわけですが、最終的には具体的に先生方の考えも集約していかなければなりませんし、その今検討協議のまだ過程でありますので、今現在の中では明確な形でのお答えはまだできないという状況にあります。

今月の中旬下旬の間にですね、その部分についても方針と決定をしていきたいと思っておりますけれども、それが表に出せるようになる際にですね、市民の皆様にもお知らせをしていきたいなと思っています。

○議長（浅沼幸雄君） 10番多田勉君。

○10番（多田勉君） 最後となりますけれども、先ほど農林水産業費の農業振興費でいろいろ質問ありましたけれども、現在市内ではJA花巻さんと農家の座談会が始まっております。

私は、市が…こんなこと言えば失礼かもしれませんが、市民と直接意見交換できる場っていうのはなかなかないわけで、そういった農協さんがやっている農家との直接の座談会、そういったものをしっかりと農協とのすり合わせをしながら、私は遠野に合った遠野型の未来の開けるような遠野の農業をそこから生み出していく必要もあるんじゃないかなというふうに思うんですが、そういったことへの市の考え方、今後農協さんとのそういった現場の声を十分に吸収し活かせるような、そういう農業政策を私は打ち出してほしいというふうに思うんですが、そのへんの考え方について、お伺いをいたします。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） おっしゃるとおりですね直に生産者の方と話し合う機会というのは貴重ですので、今回農協のほうの座談会のほうにも担当の職員をそれぞれ派遣させていただ

いております。

確かに今回の収入保険の補助制度なんかでも収入保険のほうは農済さんですけども、この次期作の支援事業費補助金の事業を検討する場合でもですね、やはりJAさんのほうときちんと話し合っ、実際種子の購入額とかもですね農協さんのほうとある程度総額っていうことでですね、昨年度の数字とかも教えていただきながら、それこそ今回の次期作の苗のほうの部分はどうするかといった部分も、やはり現場で直接生産者の方と話し合ってる部分はやはり、市もやっはおるんですけども、農協さんのほうが詳しい部分はありますので、きっちりですね農協さんのほうと連携して状況を見ながらですね、迅速に必要な施策を打っていくようにしたいと考えております。

○議長（浅沼幸雄君） 4番佐々木敦緒君。

○4番（佐々木敦緒君） 6款農林水産業費、補正についてお伺いしますが、同僚議員お話ししたように、令和2年産米60キロ1袋当たり800円ほど値下がりしたということから800円かというふうに思うんですが、大規模農家、まとまった数で販売する農家は相当の収入減になって、米作り農家は今後どうしたらいいのかという声も聞かれます。

そのような折に種子購入ということが出てきましたが、私も何かしら手当てしないと対策とか米作り離れというものを案じておった時に、購入費3分の1を補助するという提案でありますけれども、この3分の1、2分の1、3分の2いろいろある中で3分の1にした根拠っていうのはどういうことからなんでしょうか、お伺いします。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 確かに2分の1にするか3分の1にするか、かなり内部でも検討をさせていただきました。

まず、市のほうの予算的な部分もありますし、また、これが第1弾というかですね、今後の状況も見ながらさらに支援を進めていくということも将来的な部分も考えてですね、現在の

ところはまず3分の1にして、今後の様子を見ながらさらに必要な施策があれば取っていくというような形で今回は3分の1とさせていただきます。

○議長（浅沼幸雄君） 4番佐々木敦緒君。

○4番（佐々木敦緒君） 今の御答弁から、遠野の農業もう少し足腰の強いものにしようという気概が感じられなかったのは残念でありますけれども、しからば3分の1と提案されたから、種子購入のですね情報、データ、例えばJAさんから種子を購入した場合に限り補助。民間もあるわけなんですよ。こういうふうな扱い、どのように考えて種子の購入の情報の扱い、どのように考えておられるんでしょうか、お伺いします。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 今回種子の購入に関しては予算を立てるためにJAさんのほうからどのぐらいの販売額があるかというデータは確認させていただいているんですけども、別に種子の購入の補助をする時にJAのほうから買わなければならないということではなくて、割合的には少ないんですけども、集荷業者のほうから種子を買われている方もいらっしゃる、そういった方々も対象にしております。

○議長（浅沼幸雄君） 4番佐々木敦緒君。

○4番（佐々木敦緒君） わかりました。民間から購入される方もおりますからこれも対象ってことでお聞きしましたが、先ほど同僚議員からですね種子ばかりではなくて苗を購入してる農家もあるわけです、兼業農家だから助成しなくてもいいんだというのはいささか私は疑問を感じた御答弁だったなというふうに思います。種子を買って苗を育てるわけですが、この種子を補助するってことは苗も安くなっていいはずなんです、違いますか。

ですから、販売する時にあたって苗の価格が若干でも安くなるのではないかと私は思うんですが、部長の見解はいかがなんでしょうか。お伺いします。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 種子の購入に関して補助は出しますけれども、ただ、補助が出るから種子の方の購入が増えるとかですね、補助が出たとしても出なかったとしても、令和3年産の水稻生産するために一定量の種子は購入しなければならないところですので、種子の購入に補助を出すから苗の値段が下がるというのはちょっと想定してはおりませんでした。

○議長（浅沼幸雄君） 6番小林立栄君。

○6番（小林立栄君） 歳出3款の民生費の中の、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業の増についてお伺いをいたします。

必要な方が必要な支援を受けられた実績の増なのかなと捉えておりますが、この事業、申請期限が今月いっぱい終了となります。担当としてはですね、必要な方全ての方が支援を受けられたと認識されているのか。私としてはまだ漏れている方がいらっしゃるのではないかなと。そのために再度ですね周知充実させる必要があると考えているのですが、担当課、担当されている部署としてはどのようにお考えでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 子育て応援部長。

○子育て応援部長（佐々木一富君） この対象についてはですね、国のほうでの受け付けということで2月いっぱいまでっていうことになってますけれども、市とすればですね3月31日までの間にまで延長した分、それを市の単独事業という形の位置付けで3月までの対象となろうとする見込みの形での今回の増額の補正ということになります。

○議長（浅沼幸雄君） 6番小林立栄君。

○6番（小林立栄君） わかりました。次に行きます。

5款労働費の新規雇用創出事業費補助金についてお伺いをいたします。

このコロナ禍が長期化をしております、やはり経済的には厳しい状況がじわじわと圧迫してきている状況だと捉えております。

特にもやはり新卒採用の現状、やはり特にも現高校3年生の就職の内定の状況と、そこをしっかりと守っていつてあげることが必要である

と思います。

その辺りの現状と、やはり引き続きですね、これまで以上に支援をさらにきめ細かく充実させていく必要があると考えておりますが、担当部署としてはどのようにお考えでしょうか。

○議長（浅沼幸雄君） 産業部長。

○産業部長（中村光一君） 今回コロナ禍の中ですね、この新規雇用創出事業費補助金でそういったコロナ禍の中でも雇用創出に取り組んでいただく事業者さんに2カ月分の給料にあたる分を補助させていただいておりますけれども、今回状況を見るとですね、業種によって少し明暗が分かれていますのかなという印象は持っております。

先日発表されました有効求人倍率のほうでも遠野市は1.33ということで、岩手県が1.06ですので、やはり企業の求人の人を求めるという部分はコロナ禍の中でも一定程度持っているのかなという印象があります。

ただ、業種によってと言ったのは、商工労働課のほうでアンケートしておりますけれども、月毎にアンケートしておりますけれども、やはりコロナの影響がやっぱり売上げに影響あると言っているのは飲食業とか宿泊業とか、あと小売業とかですね、そういった業種でやはり影響があるという部分がありますので、市としてもメリハリを付けてですね影響がある所に。昨年飲食業の給付金もありましたけれども、そういった影響の度合いを見ながらですね、必要な施策を必要なタイミングで進めていきたいと考えております。

○議長（浅沼幸雄君） 6番小林立栄君。

○6番（小林立栄君） 企業、事業者側の人材が必要だと言う思いと、あと当然ただ働きたい側のまたこういった仕事をしたいというそのニーズっていうのは、ずれもありますので、そういったマッチングしっかりしていただきながら進めていただきたいと思います。

最後ですけれども、8款土木費の道路除排雪業務委託料についてお伺いをいたします。

ここ数年振りに雪が多く降りました。これ

までも課題として眠ってはいましたが、改めてですねこういった雪が降るといろんな課題が見えてきたと思います。

除排雪についても、自助、共助、公助の視点が凄く大事ですし、特にこれからは小さな拠点による地域づくりと連携をしっかりと図って取り組みを進めていく必要があると考えておりますが、今年実際この短時間でありまして、さまざま市民の皆様からも声が寄せられたと思います。

除排雪のこの現状と課題、また、それについてですね今後どのように取り組んでいこうとお考えなのか、お考えを伺います。

○議長（浅沼幸雄君） 環境整備部長。

○環境整備部長（奥寺国博君） まず今年度の傾向でございます。

やはり例年に比べて12月から降雪が多くてですね、除雪業者による出勤回数が例年よりもかなり多いペースで始まっております。

それから、年が明けてもですね、異常な低温が続き降雪が連続して続いておるものですから、非常に除雪の出勤回数及び砂撒き、そういった部分となかなか雪解けがですね思った以上に少なく道路のほうに個人の方から家から出すやつ、それから除雪で置かれてる雪、その部分でですね非常に見通しが悪い状況が続いてりました。

ですので、例年ですね実施しておる排雪という雪を除ける分について、2月ぐらいが1つの目安としておりましたが、今年は1月にせざるを得ないという実態がございました。これは雪の分もありますし、家の特に排雪は市街地を中心して実施しておりますが、やはり家の周辺の所に雪がもう置けないそういった分がですね、やはり道路とかそういった分の空間のほうに置かざるを得ないという状況が出ておりました。

それで費用が非常にかかる排雪という分を早めに手を打って、学校が始まる3学期が始まる所を目安にさせていただいたという状況であります。

今後道路の分はある程度一定の排雪を県と

市ともにやっておりますので、これから先の分は排雪ではなく除雪の分ですできるだけ経費がかからないようなことを考えながら進めていきたいというふうに考えております。

また、市民協働のほうにつきましてはですね、平成23年度に市民センターのほうから地区センターのほうに除雪機械、それから排雪の軽ダンプ、そういった物を配置して貸し出しという形で進めさせていただいておりますし、環境整備の部門としてはですね、融雪剤とか砂とかそういった分も合わせて地区センターであるとかそういった所に配置してですね作業しやすくする、それから補助的な部分をそこでやっていただくような形を取らせていただいております。

ただ、これからの小さな拠点の分ですね、各それぞれの地区の中で雪の分ですね、手が回らない所については市民協働の形を取りながら、あくまでも道路の所については高齢者であるとか支援が必要な所に雪を置かれると困るといふ所はですね、平成30年度から置き雪の困る所、置いておかれたら困るといふ所をですね、あらかじめ市のほうで把握して除雪が始まる前にですね、業者のほうにもこの場所にはできるだけ置き雪ないようにちょっと気をつけてくださいよと、そういうようなことも進めながらさまざまな形で進めてまいりましたし、今後ですね、小さな拠点の分も新たな形になってきますので、連絡、協力しながら進めてまいりたいと思っております。

○議長（浅沼幸雄君） 2番佐々木恵美子君。

○2番（佐々木恵美子君） すいません、戻りまして4款衛生費、新型コロナウイルスワクチン接種に関することに質問、お聞かせ下さい。

これから市外転出転入の時期があると予想されますけども、市外転出予定の方のワクチン接種、または新年度内に転入されてきた方へのワクチン接種はどのようになりますでしょうか、お聞かせください。

○議長（浅沼幸雄君） 新型コロナワクチン接種対策室長。

○新型コロナワクチン接種対策室長（佐々木一

富君) ここ3月4月以降です。ね人の移動というのが盛んになるわけですが、原則は住所地を置ける市町村ということでありすけれども、居住地が違つた場合には、その居住地の場所で接種できるようにするために一旦発行はされてますけれども、それをまた申請をすればその居住地のほうでも接種をすることができるといふような形になってございます。

○議長(浅沼幸雄君) 2番佐々木恵美子君。

○2番(佐々木恵美子君) 居住先で申請すればワクチン接種がその自治体で受けれるというご説明でありましたが、先ほど接種券の印刷、発送は4月からと予定されているんですけども、それ前にやはり何か告知つてものがこの2月3月にそういった部分、遠野テレビ等を通しての告知が必要ではないかなと思ひますが、その辺どのように考えてますでしょうか。

○議長(浅沼幸雄君) 新型コロナワクチン接種対策室長。

○新型コロナワクチン接種対策室長(佐々木一富君) 接種券、クーポン券とかそういった個人への通知については、3月中旬にはですね発送できるような形に準備は整えておきます。

事前にお知らせをしなければならぬので、そこは接種の開始日程の所を見ながら大体1カ月前位の所であれば凄くいいわけですが、いずれ事前に発送をして完了して、後から予約とかいろいろその期間が必要になるので、接種開始前、半月、1カ月前にはお知らせできるよう通知できるようにそういうふうな形で進めております。

○議長(浅沼幸雄君) 他にございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(浅沼幸雄君) 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となつております、議案第2号令和2年度遠野市一般会計補正予算(第9号)は、会議規則第37条第3項の規定により委員会への付託を省略したいと思ひます。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(浅沼幸雄君) 御異議なしと認めます。よつて議案第2号は委員会への付託は省略することに決しました。

これより討論に入ります。反対討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(浅沼幸雄君) 賛成討論ありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(浅沼幸雄君) 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより議案第2号令和2年度遠野市一般会計補正予算(第9号)を採決いたします。

採決は、表決システムにて行います。本案は原案のとおり決することに賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

[表決]

○議長(浅沼幸雄君) 押し間違いはございせんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(浅沼幸雄君) 以上で、表決を締め切ります。採決を確定いたします。

賛成全員であります。よつて、本案は可決いたしました。

閉 会

○議長(浅沼幸雄君) 以上で、本日の日程は全部終了しました。

これにて本日の会議を閉じ、令和3年2月遠野市議会臨時会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

午前11時06分 閉会

